



校長のひとり言

Tシャツ

今は梅雨のジメジメした日が続いているが、梅雨明け後は真夏の太陽が照りつけることになるだろう。この季節はTシャツを着て過ごすことが多いと思うが、Tシャツは多色でデザインもユニークものが多いようだ。

漢字で書かれたTシャツは、外国人の方々に人気らしい。例えば「侍」、「戦国武将の名前」、「絆」、「闘魂」、「男気」、「浅草」などである。

中高生では所属している部活のオリジナルTシャツを着ているのを見かける。学校名と競技名がプリントされたり、ことば入りのものも見かける。「自分に勝つ」、「信は力なり」、「ホメられて伸びるタイプ」、「俺がやらなきゃ誰がやる」、「考えるな感じろ」、「仲間を信じろ」、「スーパーサブ」、「俺をなめんなよ」、「どんまい」、「ポンコツ」など、信条や和ませる内容のものも多い。

県庁に出かけると、鳥根県観光キャラクターの「しまねっこ」や自虐ネタの「吉田くん」などがプリントされたTシャツやポロシャツを着て仕事をしている職員を見かける。クールビズの期間中に広報用として作られているようだ。

皆さんはどのようなお気に入りのTシャツを持っていますか。思い出深いものやユニークで和むものはありますか。

私のお気に入りのオリジナルTシャツは、知り合いが作ってくれた紺地の背中に歯ブラシで書いた「No pain No gain」という白文字入りです。部活動指導でよく着ては選手を激励していた。指導していた競技スポーツの特性から生徒には、「痛み、苦しみ、辛さから逃げていたら得るものは無い」と話していた。

ストローハット

これから猛暑日が続くだろうが、外出の際には帽子があるといい。直射日光を避けることで、日射病や日焼けの防止ができる。最近は種類も豊富になり、おしゃれなストローハットがある。(型としては中折れ帽、女優帽、カンカン帽、テンガロン、ポーラ帽)日差しが強く高温になると外出を避けて、冷房の効いた場所で過ごしたくなりますが、出かけなければならないときは、流行りのストローハットを被って暑さや日焼け対策をバッチリして出かけよう。腕の日焼け対策はロング丈のUV手袋があるといいだろう。

サンダル

暑くなるとビーチサンダルを履くことがある。涼しく濡れても平気で便利な履物である。種類としては、鼻緒の付いたものとそうでないものに大別できるだろう。どちらにせよ裸足で履くことが多いと思うが、最近のスポーツサンダル(踵止め付)はスポーツソックスを履いてサンダルを履くようだ。どちらにせよ注意したいことがある。靴と違って足の露出部分が多いこととビーチサンダルがゴム製により柔らかく変形しやすいなどにより、つま先の打撲、滑って足首の捻挫、エスカレーター昇降中の巻き込みなど発生している。ビーチサンダルは足のトラブルを招きやすいので注意しよう。